



飛鶴の森林から

当ふれあいセンターは、国有林をフィールドとして北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取り込む NPO 等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。

北海道科学の祭典釧路大会

『サイエンス屋台村』

11月3日(水) 釧路市子ども遊学館を会場に子ども達に科学のおもしろさを知ってもらうため、サイエンス屋台村(青少年のための科学の祭典釧路大会実行委員会主催)が開催されました。第11回を迎えた今年も、小・中・高の教員、中学・高校の科学部の生徒、大学の研究室、企業、NPO 法人等が科学に関する32の様々なブースを出展しました。

当センターでは、木の摩擦熱を利用して火種を作る道具を使用した「火起こし体験」ブースを出展しました。写真のように火種棒を先端に取り付けた回転棒を回転補助棒を使って火きり板の上で回転

させ、木の摩擦熱を利用して火種を作ります。参加した子ども達は、なかなか回転棒が上手に回らず苦労していましたが、親の手を借りて火種を作っていました。また、上手に回転棒を回すのですが、あと一歩のところまで疲れて止まってしまう火種を作ることが出来ない子もいましたが、皆楽しく火起こしにチャレンジしてくれました。

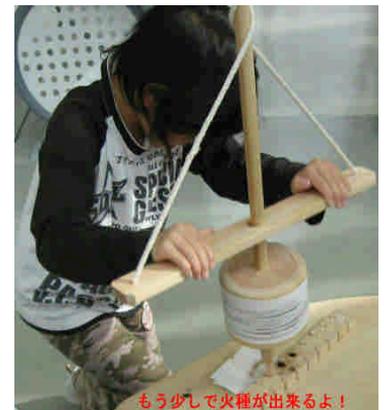
火を創る原点を実際に体験した子ども達は、祖先が工夫して火を起こし生活していたことや、木と木をこすり合わせた摩擦熱で火が起こせることを学習出来たことと思います。



火起こしにチャレンジする子どもたち



火起こしにチャレンジする子ども達



もう少して火種が出来るよ!

第4回 雷別ドングリ倶楽部活動

11月24日(水) 今年度4回目の雷別ドングリ倶楽部活動を会員13名が参加してパイロットフォレストで行いました。今回の実施内容は、「炭焼・飾り炭作り」、「枝打ち・保育間伐作業」を実施しました。

炭焼では、ドラム缶を使用した簡易炭焼窯に、事前に用意しておいたカラマ材を入れ、火入れを行いました。また、飾り炭作りでは、カラマツ、アカエゾマツなどの松ぼっくりの外、会員自ら持ってきた「桃のタネ」や「クリのイガ」なども一緒に炭にしました。

枝打ち及び保育間伐作業では、直径10cmから16cmに成長したアカエゾマツの下枝をノコギリを使って切り落としたり、立派な森林になるようにと願いを込めて間伐作業を行いました。作業終了後に、飾り炭を窯から出し、出来具合を見定め、壊れないよう静かに容器に移して持ち帰りました。

なお、当日の昼食時には、「釧路キノコの会」に所属する会員からキノコ汁の提供があり、参加者全員でおいしくいただきました。



ドラム缶を利用した炭焼窯



飾り炭作りします。



枝打ち作業



伐倒後の枝払い

第10回 森林再生小委員会

10月28日(木) 釧路湿原自然再生協議会第10回森林再生小委員会が開催されました。森林再生小委員会は協議会の下に設置された6つの小委員会の一つで、森林の再生に関する実施計画とその実施状況、モニタリング結果を検討します。



雷別地区自然再生事業について説明される。

当日は個人委員7名、団体委員11機関及び関係行政機関が参加し、雷別地区自然再生事業及び環境省の達古武地域自然再生事業について説明の後、意見交換を行いました。

当センターからは平成12年にトドマツ人工林が気象被害に遭い、立ち枯れが発生し無立木地となった森林を再生するため、地表処理や植栽等現在実施している事業について報告を行いました。その後、釧路湿原自然再生全体構想が策定されて5年目を迎えた施策の点検についての議事の中では、活発な意見や貴重なご指導をいただきました。



活発な意見交換を行う小委員会の座談会。

森林ボランティア養成講座

10月31日(日) 第3回目の「森林ボランティア養成講座」を雷別国有林及びパイロットフォレストで開催しました。今回は、「広葉樹タネの採取(ミズナラ)」、「キノコの観察会」と題して実施しました。

「広葉樹タネの採取」では、前回設置したシートラップからミズナラのタネ(ドングリ)を採取しました。完全に熟さないうちに風で落ちてしまったドングリ、すでに根を覗かせているドングリなど様々でしたがたくさんのタネを採取することができ、来春の苗木作りが今から楽しみです。

午後からはパイロットフォレストに場所を移し、「キノコの観察会」を行いました。講師には、北海道キノコの会会員の奈良氏を招き『キノコと森について』と



シートラップからドングリを採取する参加者。

観察会の途中で見つけたキノコ

題してパイロットフォレストの遊歩道を利用して行いました。同じキノコでも、発生している場所や環境で全然違うキノコに見えたり、全く違うキノコなのに同じに見えたりとキノコを見分ける難しさを教わりました。また、キノコは森の中にある切り株や倒木、動・植物の死骸、落ち葉や木の枝などを分解して土に戻し、新しい樹木の栄養源を供給する重要な役割を担っていることも学びました。



パイロットフォレスト、ニガタリコース

参加者の皆さんは、午前中は自然再生のお手伝いを行い、午後からは森林の楽しみ方を体験されたことと思います。



講師(奈良氏)の解説を聞く参加者の様子。

ふれあい児童館で「箸作り」

11月13日(土) 釧路総合振興局が行う、子どもたちの森林・自然環境活動支援事業「森林と木とのふれあい体験」が白糠町庶路ふれあい児童館で行われ、日頃児童館を利用している小学校低学年から高学年の子どもたち17名が参加しました。

初めに、振興局が用意したドングリを全員で花壇に埋めました。担当者からはドングリが土の中で根を出し、来年の春に芽を出して葉を着けるなどの説明を聞き、ドングリから苗木になる様子を学びました。



作り方の説明

その後、当センターによる木の工作「箸作り」を行いました。ナイフなど刃物の使用は子ども達には難しいため、棒ヤスリ・紙ヤスリを使用して行いました。作る方法は、箸型にカットしてある木の四つの角をヤスリで削り、段々と細くして箸にする方法を取りました。子ども達は、黙々とヤスリで削り、少し太めの「私



どんなマイ箸が出来るかなあ

だけのお箸」を作り上げていました。

仕上げにクルミの油をぬり、木目や木の色が鮮明になると、皆、大喜びしていました。

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

〒085-0825 釧路市千歳町6-11

TEL 0154-44-0533 FAX 0154-41-7305

URL http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html

E-mail h_kusiro_f@rinya.maff.go.jp